



風光明媚(めいび)な由良町の海

それは10年前、 紀州のカップドキア から始まった。

カップドキア Cappadocia
トルコ、アナトリア高原の火山活動によってできた大地をいい、岩石遺跡群などが世界遺産に登録されている。

継続は力なり

「今の子どもは外で遊ぶなくなつた」という声が聞かれるようになってからはいつからでしょうか。そうした子どもたちに、普段なかなか味わうことのできない体験をしてもらい、生きる力を身に付けてもらおうと市では、10年前から野外体験活動事業「チャレンジみのかも」を毎年夏休みに実施しています。

事業は平成11年の夏、和歌山県由良町から始まりました。由良町は紀伊水道に面し、景観が大変素晴らしい「紀州のカップドキア」と呼ばれているところで、海を中心とした活動プログラムを組みました。そこでは、行政主導ではなく、ボランティアスタッフの手による自発的な実行委員会方式を採用し、関係者すべてが、共に学ぼうとしたことが特徴です。試行錯誤の始まりでしたが、参加者

に大変好評だったことから継続の方向で今に至っています。

10年の間に、この事業を取り巻く環境は大きく変化してきました。由良町とは、子どもの交流がきっかけで友好的な関係に発展しています。しかし、市の財政状況や由良町との距離などが問題となり、事業規模を縮小してきましたが、「継続は力なり」の言葉とおり事業を継続し、今年も、場所を変えて、御嶽登山を中心とした活動を15人の子どもたちが体験しました。

この事業は「自立」「協調」「信頼」「感謝」がキーワードになっています。これは、子どもだけでなく、スタッフも含めたみんなの合言葉です。また、今年のスタッフには、第1回目に、児童生徒として参加した人が数人います。こうした人のつながりが、青少年教育の場で影響を与えています。

岩腰 明恵さん
Akie-Iwakoshi

スタッフ
として恩返し!

不破郡垂井町立
垂井小学校教諭



10年前の中学2年(東中)の時に「チャレンジみのかも」に参加しました。

自然豊かな由良町の景観と年齢や学校が違う仲間と何日も一緒に過ごし苦労したことが印象に残っています。

その後、ジュニアリーダーになり、自然な流れでスタッフとして参加しています。自分が体験したことを多くの子どもたちにも体験してもらいたいし、少しでもその手助けができればと思っています。また、10年前の体験が無ければ、教師になっていなかったかもしれません。

御嶽山飛驒頂上から剣ヶ峰方面を望む

野外体験活動 ある夏の思い出



平成11年(1999)に始まった、子どもたちの夏休みを利用した野外体験活動は、今年で10回目になりました。最初の年に参加した子どもたちは、すでに成人になっています。今回は、これまでの活動を振り返るとともに、今年の体験活動の様子を中心に紹介していきます。

野外体験活動10年の足跡

- 第1回 平成11年(1999) 由良町6泊7日 子ども51人参加 100人超の一大所帯。国の補助事業市の単独事業として開催
- 第2回 平成12年(2000) 由良町4泊5日 子ども30人参加
- 第3回 平成13年(2001) 由良町4泊5日 子ども20人参加 電車の旅を満喫
- 第4回 平成14年(2002) 由良町4泊5日 子ども23人参加 由良町の子どもと同泊
- 第5回 平成15年(2003) 小坂町4泊5日 子ども19人参加 研修場所を御嶽へ変更
- 第6回 平成16年(2004) 由良町4泊5日 子ども20人参加 第1回参加者がスタッフとして参加
- 第7回 平成17年(2005) 由良町4泊5日 子ども20人参加 磯場で写生大会を開催
- 第8回 平成18年(2006) 由良町4泊5日 子ども26人参加 新スケジュール、ピザ作り登場
- 第9回 平成19年(2007) 由良町4泊5日 子ども18人参加 地引網体験復活
- 第10回 平成20年(2008) 下呂市3泊4日 子ども15人参加 御嶽登山に挑戦